

# 社会貢献

秋田大学は、平成16年度の国立大学法人化を契機に、教育・研究・社会貢献を大学運営の重点事項として掲げ、公共的な知の拠点として大学開放事業を推進してきています。

本学の社会貢献活動の根底には、学生のみならず、生涯学習も教育の一環であり、社会の人々にも積極的に教育資源を提供していこうという思いが込められています。そのコンセプトを基に、下記の諸活動が展開されています。また、高校生やその保護者、あるいは小・中学生を対象とした企画も実施しています。

## 秋田大学の社会貢献事業

### ■公開講座

生涯学習の一環として、市民・県民の皆様どなたにでも本学の良質な教育資源を提供するために、毎年多種多様なテーマで公開講座を開講しています。

※今年度開講の講座は秋田大学HPをご覧ください。



### ■秋田メディカル・サイエンスカフェ

秋田大学大学院医学系研究科の教員が最新の医学研究の成果をわかりやすく解説し、その後参加者の方々とその話題について自由に意見交換をする「秋田メディカル・サイエンスカフェ」を毎年開催しています。「カフェ」のように気軽に立ち寄っていただけるように会場には飲み物を用意し、くつろいだ雰囲気の中で医学知識に触れてもらう機会を提供しています。



### ■地域アカデミー

全国から受講生を募集、秋田の文化、自然、地下資源など「秋田」をテーマにした講義を行う地域アカデミーを実施しています。



### ■子ども見学デー

毎年夏休みに、小・中学生とその保護者の方を対象に「子ども見学デー」を実施しています。キャンパス内の見学や大学研究室での実験、天体望遠鏡を使った観察など、様々な体験を通じて、大学に対する関心を高めてもらうことが目的です。



### ■小・中学生等の大学訪問受入

総合学習や職場訪問等の一環としての小・中学生の大学訪問や、PTA研修等を随時受け入れております。職員が学内を案内したり質問に答えたりしながら、秋田大学を紹介します。また、要望があれば、研究室を訪問し教員や学生へインタビューすることも可能です。



## ■サテライト事業

秋田県内自治体や首都圏において、本学教員による講演会、子ども向け科学教室等を開催しています。本学と秋田県立大学、国際教養大学による3大学連携により市民向け講座も行っています。



## ■自治体との連携

秋田大学が持つ教育・研究資源の提供と、地域活性化の促進を目的に、秋田県内自治体と連携協定を締結しています。「地域に根ざした大学」を目指し、公開講座の開催や学生の地域交流等による社会貢献を行っています。

平成23年5月13日現在、秋田県を含む11の自治体と連携協定を締結しています。



## 地域との架け橋へ

地域の活性化のために今、大学に大きな期待が寄せられています。

秋田大学は今年4月、秋田大学地域創生センターを学内に設置しました。大学力を総動員し、これまでの社会貢献活動をより推し進めていくためです。

市民講演会や子ども向け科学教室の開催。地域の教員の指導力向上への支援。そして秋田大学の複数の教員をメンバーとするプロジェクトを立ち上げ、地域が抱える課題へも向き合います。

「地域と共に発展し、地域と共に歩む」。地方大学に在るべき姿です。

活動のフィールドとなるのは、大学キャンパスがある秋田市内だけではありません。秋田大学は高等教育機関不在の地域、横手市と北秋田市にそれぞれ分校を開設しています。分校を拠点として活動のフィールドを秋田県全域へと広げているのです。

教育文化学部長沼ゼミの学生たちが3年前から挑戦している活動に、横手市山内地区の特産品「いぶりがっこ」づくりがあります。大根の種蒔き、収穫、燻し、漬込み。農作業も初めてという学生たちが、地

元農家の指導で一緒に汗を流す。去年は県内のスーパーなどで販売するために、バイヤーへの商品PRや価格交渉などにも挑みました。学生が地域から学びながら、社会現実へと向き合っているのです。

地域に貢献する人材育成。それもセンターの使命です。センターでは、大学が地域に出向く機会をこれから積極的に作り出していく考えです。

大学が地域を、地域が大学を。大学と地域が一体となって地域創生へ向かって動き始めています。

